

社会福祉法人松溪会 2017(平成29)年度事業計画

理事長 武 居 敏

2017年度、社会福祉法改正による社会福祉法人制度改革の新しい法人運営の初年度を迎えます。法人としての対応を新制度に基づいた規程の改訂、新評議員会の開催、理事・監事の選任、決算、等、ガバナンスの確立、財務規律の強化等について、年度前半を中心に進めてまいります。また、この機に法人としての将来に向けて、「全国経営協アクションプラン2020」による中期行動計画の検討を進めます。

浜松市、湖西市ともに依然として保育に対するニーズは高い状況です。この時期に各々の園の特色を明確にし、地域の子育ての中核の一つとなることができるよう、保育・教育の質の確立と、地域に対する児童福祉サービス施設としての特色づくりをしていくことが大切だと考えます。特に、「新保育所保育指針」、「認定こども園教育・保育要領」による保育の在り方を改めて全体で学習するとともに、この実現にむけて検討を進めていきます。

また、年々、新規採用の職員確保が厳しくなっています。これに対応するため、処遇改善や研修の充実を行ってきました。職員の処遇改善のため、2016年度は処遇改善手当(3,000円)の新設をし、賞与を従来の4.2か月に0.3か月上乗せして(人事院勧告0.1増を含む)4.5か月分を支給しました。国は保育士確保のため新年度から処遇改善策として、従来の園長、主任という階層に加え、副主任、チームリーダーという職員の階層化による中間的な待遇を創設する予定です。当法人でも2016年度にこのような方法による待遇改善を検討しているところでしたので、国の方針を確認しながら実施いたします。

岡崎保育園は開設から37年目を迎え、ほぼ順調な経営となっています。2016年度当初に、隣地の林を購入することとなり、園庭の拡張と駐車場の整備をしました。2017年度はこの園庭に新たな遊具を設置することを計画しています。また、以前から市に対して、岡崎保育園を認定こども園に移行する方針を表明しているところです。市の方針は公立保育所を優先して移行するために、民間保育所の認定こども園への移行には消極的ですが、今後も市との協議を進めていきます。

放課後児童クラブ秋津は、定員以上の要望が多く、今後市との協議をし、2クラスに分けるかどうかの検討をする時期だと考えます。

市野与進こども園は、来年度は創立後11年目となります。2016年度からのこども園移行は順調に進み、経営的にも順調に推移しています。入園希望が多いため増築の企画を進めてまいりましたが、2017年度40人の定員増のための増築

補助金が認められました。保育室の増築をするとともに、さらに開設時 90 人定員で始まりましたが、今回の増築で 180 人定員になることから、今まで手を付けていなかった厨房機器等の増設も大きな目的と考えます。来年度は、在園児の安全を確保しつつ開設以来の大きな工事を進めてまいります。

法人としての中期的な事業方針は従来と変更なく以下の 4 項目です。

1, 保育サービスの質の向上

新保育指針、認定こども園教育・保育要領、放課後児童クラブ運営指針（以下保育指針等）に沿った保育・教育の実践

国、市の方針等の環境変化に応じた園の経営

保護者への積極的な子育て支援

保育環境の整備

環境を守る取り組み

タイムリーな情報発信

2, 職員の確保・育成

働きやすい環境づくり、待遇の改善

計画的な研修

タイムリーな情報発信

3, 地域への貢献（保育所、放課後児童クラブの直接的な利用者以外にも）

地域貢献活動の充実

タイムリーな情報発信

環境を守る取り組み

4, 法人、事業基盤の強化

法人組織の強化（法改正への対応）

経営の把握と無駄の排除

国、市の方針等の環境変化に応じた園の経営